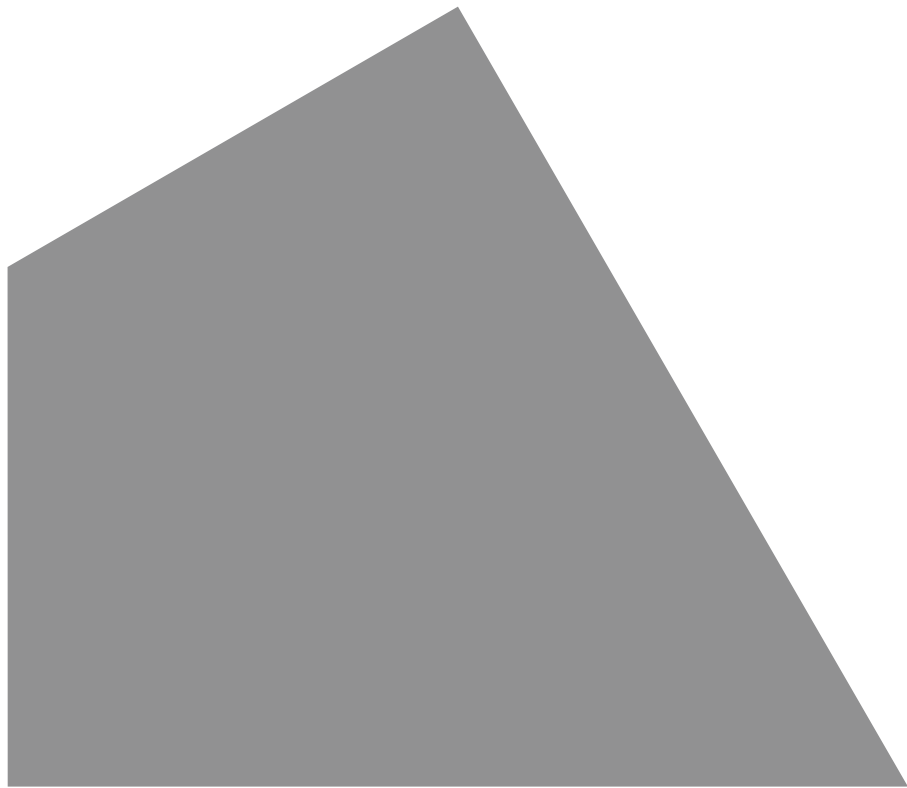


食
し
ょ
く



食

しょく

お茶^{ちゃ}はどのように作^{つく}られているの？

ぎょうと やましろ ちいき にほんちゃ う ねん れきし
京都の山城という地域は、日本茶が生まれてから800年も歴史
とくべつ ちゃ は そだ
がある特別なところですよ。お茶の葉を育てるところから、おいし
の ひと くふう かん
く飲めるようになるまで、がんばっている人たちの工夫を感じ
てみましょう。

1 うじたわらちよう
宇治田原町

2 わづかちよう
和束町

3 きょうたなべし
京田辺市

4 うじし
宇治市

5 ちゃ うじ れきしこうえんちゃ
お茶と宇治のまち歴史公園茶づな

6 こうえきしゃだんほうじんきょうとふちゃぎようかいぎしよ
公益社団法人京都府茶業会議所

うじしれきしりようかん
宇治市歴史資料館

1

りよくちゃ

緑茶がうまれたまち

いま、わたしたちが飲んでいるみどり色の^のお茶^{いろ}

は、江戸時代^{えどじだい}に京都^{きょうと}の宇治田原^{うじたわら}に住んでいた、^す

永谷宗円^{ながたにそうえん}という人^{ひと}が開発^{かいはつ}しました。みどり色の^{いろ}

おいしいお茶^{ちゃ}が飲める^ののは、15年^{ねん}という時間^{じかん}を

かけて開発^{かいはつ}した、永谷宗円^{ながたにそうえん}さんのおかげです。

うじたわらちょう

宇治田原町

綴喜郡宇治田原町大字立川小字坂口18番地の1

宇治田原町



2

うじちゃ しゅさんち わづかちゃ 宇治茶の主産地で作られる「和束茶」

わづかちゃ はじ ねんまえ
和束茶の始まりは800年前といわれています。

しぜんゆた わづかちょう まち ちゅうおう わづかがわ
自然豊かな和束町では、町の中央に和束川が
なが た かお
流れています。きりが立ちやすいため、香りと

ちゃ こがねいろ
うまみのあるお茶ができます。黄金色にかがや

いろ まち ひろ ちゃばたけふうけい
く色もとくちょうです。町に広がる茶畑風景は

まち ひと
町のみりょくの一つです。

わづかちょう
和束町

相楽郡和束町大字釜塚小字生水14-2



3

しぜんゆた かっき きょうたなべし 自然豊かな活気あふれるまち 京田辺市

きょうたなべし きづがわ なが いこま やまやま つら
京田辺市は、木津川が流れ生駒の山々が連な

ゆた しぜん かこ ふる みなみ
る豊かな自然に囲まれたまちです。古くから南

やましろちほう ちゅうしんち はってん いま
山城地方の中心地として発展してきました。今

かっき すす
も活気にあふれたまちづくりが進められてい
ます。



きょうたなべし

京田辺市

京田辺市田辺80番地



3

にほん

ゆうめい

ちゃ

さんち

日本でも有名なお茶の産地

きょうたなべし

ぎよく

たか

ひんしつ

ちゃ

さん

京田辺市は「玉ろ」という高い品質のお茶の産

ち

し

はる

ちゃえん

地として知られています。春になると茶園にお

にっこう

えいよう

は

おいをかけて日光をさえぎることで、栄養を葉

ちゃ

ひ

にいきわたらせ、お茶のあまみとうまみを引き

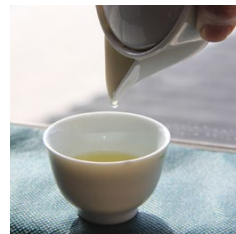
だ

出しています。

きょうたなべし

京田辺市

京田辺市田辺80番地



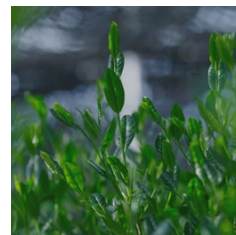
4

うじしないさん うじちゃ い 宇治市内産・宇治茶の良いところ

うじし はる ちゃえんぜんたい
宇治市では、春に茶園全体をすっぽりとおお
にっこう あ
い、日光が当たらないようにします。こうするこ
み おお ちゃ そだ
とでうま味の多いお茶に育ちます。そして、お
ちゃ しんめ ひと ひと て と
茶つみさんが新芽を一つ一つ手でつみ取り、
ちゃ つく
おいしいお茶が作られるのです。

うじし
宇治市

宇治市宇治琵琶33



5

うじちゃ ちゃ み たの まな 宇治茶のテーマパーク「茶づな」～見てふれて楽しく学ぼう～

「てん^{ちゃ}茶」といわれる^は葉を、うすでひいたもの
が、ま^{ちゃ}っ茶^よと呼ばれています。お茶の入口^{ちゃ}を体^{いりぐち}
験^{けん}！黒い棒^{くろ}を持って、時計^{ぼう}と反対^もの向き^{とけい}（反時^{はんたい}
計^む回り^{はんと}）に回してお茶^{けいまわ}をひいてみましょう。^{まわ} ^{ちゃ}



ちゃ うじ れきしこうえん ちゃ
お茶と宇治のまち歴史公園茶づな
宇治市菟道丸山203-1



6-1

せいちゃず しめん 製茶図 四面

ちゃ き ばい ちゃ じゅん
茶の木のさい培から、お茶をつくるまでを順に
えが めいじじだい なか こうはん
描いたもので、明治時代の中ごろから後半の
え ちゃ つく かた えどじだい
絵といわれています。お茶の作り方は江戸時代
つた ちゃ しあ にづく
から伝わるもので、お茶に仕上げて、荷造りを
しゅつか えが
して、出荷されるまでを描きました。

こうえぎしゃだんほうじんぎょうとふちゃぎょうかいぎしよ
公益社団法人京都府茶業会議所
宇治市宇治折居25-2



6-2

ふる ちゃ さんち し うじ
古くからお茶の産地として知られた宇治

うじ ふる ちゃ つく かた
宇治では古くから、お茶のさいばいや作り方に

くふう かさ
さまざまな工夫が重ねられてきました。「せん

ちゃ えどじだい つく みどり
茶」は、江戸時代に作られたそうです。うす緑

いろ かお えど にんき ぜんこく ひろ
色で香りもよく江戸で人気となり、全国へ広が

りました。

うじしれぎしりょうかん
宇治市歴史資料館

宇治市折居台1-1（宇治市文化センター1階）



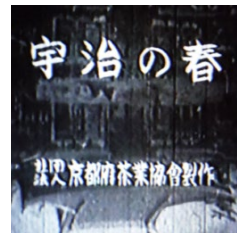
6-3

えいが うじ はる 映画『宇治の春』

むかしのお茶づくりのようすや、宇治のゆうめ
いなお寺や宇治橋、宇治川ちかくを走っていた
かわいい「おとぎ電車」のようすを見ることが
できます。

うじしれぎしりょうかん
宇治市歴史資料館

宇治市折居台1-1(宇治市文化センター1階)



16ミリ映画フィルム『宇治の春』
社団法人京都府茶業協会・宇治観光協会制作
京都府茶業会議所蔵 / 宇治市歴史資料館提供

ぜんしん きょうと かん 全身で京都を感じてみよう！

ゆかとかべにつか きょうかわら
に使われている京瓦は、キモノタイル
といます。きもの み
着物のえりもとに見えるようにデザ
インされました。えいぞう きょうと ふうけい ひと
映像は、京都じゅうの風景や人
のくらしをうつしています。おんがく きょうと
音楽は、京都のいろ
いろなところのおと あつ
音を集めてつくったものです。

空間デザイン協力	Space design cooperation
Sandwich	Sandwich
京瓦タイル「キモノタイル」製作協力	Kyoto tile "Kimono tile" production cooperation
株式会社京瓦 浅田製瓦工場	ASADA KAWARA FACTORY
テーマ映像制作	Theme video production
株式会社 青空	AOZORA,LTD
テーマ音楽制作	Theme music production
原 摩利彦	Marihiko Hara

大阪・関西万博きょうと推進委員会